

《平成22年度 平塚市住居表示審議会》 会議録

日 時 平成22年7月21日（水） 午後3時30分～午後4時10分

場 所 平塚市議事堂 第2委員会室

出席者 <委員>

松本委員，伊東委員，吉野委員，宮代委員，榎本委員，長谷川委員，渡部委員（順不同）
（委員8名中、7名出席）

<平塚市>

大藏市長，梶山まちづくり事業部長

まちづくり事業課 石田課長，二之宮課長代理，中戸川主査，水嶋主任，大島主事

傍聴者 0人

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 市長あいさつ

4 正副会長の選出 （委員の互選により、会長：吉野委員、副会長：長谷川委員）

（事務局から委員の1/2以上の出席により会議が成立している旨の報告）

（事務局から傍聴者ない旨の報告）

5 議事事項

（1）平塚市住居表示整備事業について

石田課長が、パワーポイントを使っての説明。（別添資料参照）

（以下、質疑応答要旨）

【委 員】

・住居表示板の配布は、プライバシーのこと等、どのように配慮しているのか。

【事務局】

・住居表示実施区域内の全戸に配布している。

・御指摘のとおりプライバシーの面で、必ず貼付してほしいとはしていない。

・しかし、学童等のパトロールの観点から居場所がわかりやすいというメリットもある。

【委 員】

・真田、北金目地区の住居表示実施時期は、年賀状の時期と重ならず、大変良かった。

・今後の実施にあたっては2月頃が好ましいと考えている。

【事務局】

・事務局としても、1月または3月は転居等の異動が多い時期なので、秋、または2月が望ましいと考えている。

・今後の実施にあたっては、関係する方々の意見を聞きながら進めたい。

【委員】

- ・市域の中で、歴史的な名称を持った町名があったが、住居表示実施に伴い、「丁目」となってしまった所があり、とても寂しく思う。
- ・事務局としての考えはいかがか。

【事務局】

- ・既に住居表示が実施された区域について、町名の変更は考えていない。
- ・今後実施される区域については、地元の方々の声を聞き、進めていきたい。

【委員】

- ・市街化区域の80%弱について、住居表示が実施されたとのことであったが、最終的な目標は、どの程度を考えているのか。

【事務局】

- ・市街化区域の未実施部分については、住居表示を進めたいと思っている。
- ・そのためには、地元との話し合いが整ったところから進めていきたい。
- ・ただし、一方では、例えば田村地区のように実施まで長年かかった地域があるという事実もある。

【委員】

- ・旭地区のように、住居表示未実施区域について、街区表示板が貼られていないが、郊外の取り扱いはどうになっているのか。

【事務局】

- ・旭地区については、以前に住居表示実施の話を投げかけたが、地元から時期尚早との御意見があった。
- ・このように住居表示未実施区域については、街区表示板は貼られていない。

【委員】

- ・地域において、住居表示を進めるための条件はあるのか。

【事務局】

- ・地域住民の方々の気運が高まったところを進めていくこととなる。

【委員】

- ・住居表示については、次は真田西部地区を対象としているとのことだったが、その次の候補地はあるのか。

【事務局】

- ・真田西部地区については、ここで地元の代表者による検討組織を立ち上げたばかりである。
- ・まずは、当地域が進めていくことができるかどうか見極めており、その次の候補地は現時点ではない。

(2) その他

なし

6 閉会

以上